

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）
令和2年度～令和4年度 総合研究報告書
分担研究報告書

選択肢提示に関する医療スタッフのあり方に関する研究

研究分担者 名取 良弘 飯塚病院 特任副院長、脳神経外科部長

研究要旨：

先行研究では、急性疾患で終末期を迎えた患者の家族にとって、治療に直接関与しない職員の介入が、医療全般の満足度を向上することが明らかとなったが、一部の看護系職員が直接治療に関与しない立場で介入しても、十分に認識されなかった。職種に限らず、患者家族の意思決定支援として介入することを明確にするための冊子を活用しその効果を測定した。介入の認識は先行研究と比べ倍増し有効な方法と考えられた。また、治療に直接関与しない職員として医療ソーシャルワーカーが介入することは、終末期の意思決定支援の場面では至極当然のことであり、その一環としての『臓器提供の意思確認』は、極めて自然な流れであり、現在主治医を中心に行っている意思確認の確実実施の向上を図る有効な方策と考えられる。

A. 研究目的

先行研究(厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)分担研究)において、急性疾患で終末期となった患者家族に対して、担当医師・担当看護師以外の治療に直接関与しない職員が介入したことで、患者家族の医療の満足度が有意に向上した。しかしながら、看護系職員(看護師長など)の関与は、治療の一環として認識されがちで、介入の効果が得られない状況であった。その改善策として作成した、介入の認識を高めるため患者家族に渡す冊子は、先行研究の終盤に用いられ始めたため、その活用効果は明確となっていなかった。本研究では、冊子を用いた上での介入効果を明確にすることとした。

B. 研究方法

【急性期疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査】

先行研究で2018年1月より実施している急性疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査を継続した。アンケートの匿名化のため、先行研究では調査年度が明確ではなかった。同じ用紙を使用する本年度研究の結果を区別するため、本年度の調査用紙は、B5サイズ(先行研究はA4サイズ)に変更した。

実施は先行研究同様で以下の通り。

- 1) 脳神経外科入院患者の入院時に、患者家族に退院後に任意のアンケート調査がある

ことを伝える書類(別紙1)を渡す。

当院では、死亡退院以外の患者家族には、退院時にアンケート調査を行っているが、死亡退院の場合には行っていない。今回の調査は、現在行っていない死亡退院患者家族へのアンケートであり、用紙は後日自宅へ送付する方法をとるため、事前のアナウンスが必要と倫理委員会から指摘されたため、別紙1の用紙を、脳神経外科に入院する患者家族すべてに渡すこととした。

- 2) 死亡退院後、50日を経過したのち、アンケート用紙(別紙2)を患者家族(入院時登録されたキーパーソン1)の自宅に返信用の封筒を入れて送付する。

- 3) 返送されたアンケート用紙を集計分析する。

なお、担当医師・担当看護師以外の治療に関与しない職員(医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)、看護師長など)が介入する際には、先行研究で作成した、患者家族の介入の認識を高めるため患者家族へ渡す冊子(別紙3)を使用した。本冊子は、先行研究で、多くの症例で病棟看護師長が治療に直接関係しない立場で家族へ介入していたにも関わらず、患者家族から看護師長の介入があったと認識されなかったことを踏まえて作成された冊子である。

(倫理面への配慮)本調査は、飯塚病院倫理委員

会で審議の上、承認された。(平成30年1月10日:R-17190)

【協力施設への展開】

2019年度から、本施設は(社団)日本臓器移植ネットワークによる臓器提供施設連携体制構築事業の拠点施設に選ばれ、2020年度は15施設と連携した。この15施設に向けて、先行研究結果を含めた本研究の骨子を説明する学会発表や講演データを送付し、各施設内での治療に関与しない職員の家族ケアが重要であることを啓蒙し、担当スタッフの育成や体制整備に取り組んでいただくように活動を行った

C. 研究結果

【急性期疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査】

1) 返信率

3年間で、146例に送付し、返信は66例であった。3年間の返信率は、45.2%であった。先行研究の3年間で返信率は40%であり、コロナ禍の影響なのか返信率は増加していた。特に2020年度の返信率59.0%が大きく影響していると考えられた。

なお、同時期の当院の一般の調査(転院もしくは自宅退院した患者に対しての同様の退院時調査)の返信率が35%前後であり、先行研究同様に本研究の返信率が高かった。

2) 多職種介入の患者家族の認識

患者家族は、担当医師・担当看護師以外の治療に関与しない職員(“第3の職員”)の介入を23例(34.8%)で希望し、17例(25.8%)で介入を認識していた。

先行研究では、返信例41例中6例(14.6%)で介入希望、5例(12.2%)で介入認識であり、有意な増加が見られた。

介入と認識された職種は、MSW9例、看護師長6例、リハビリ療法士1例、看護助手1例で冊子を渡すMSWと看護師長の増加が顕著であり、冊子の効果が明確となった。

患者家族の医療の満足度に着目し、満足度を5、不満度を1とした5段階評価で解析すると、介入希望の有無では、有:4.09±1.04(n=23)、無:4.00±1.06

(n=35)でほぼ同じ満足度であった。一方、介入認識の有無では、有:4.47±0.87(n=17)、無:3.82±1.17(n=39)で、介入ありが有意に高い満足度であった(Wilcoxonの順位和検定 p=0.035)。介入希望があった23例中、介入認識があった12例と、介入認識がなかった11例で比較すると、希望有・認識有:4.50±0.90、希望有・認識無:3.64±1.03で、有意差(Wilcoxonの順位和検定 p=0.023)を認めた。

【協力施設への展開】

配付資料は、コロナ禍の影響により、各施設内で十分に活用出来たか疑問であったが、2022年4月より、本研究の趣旨である担当医師・担当看護師以外の職員による家族ケアに対して、重症患者初期支援充実加算が保険収載された際、本研究で送付した資料が有効に活用出来たとの報告を数多く受けた。

D. 考察

本研究は、先行研究と同じアンケート用紙を用いたものであったが、2つの点で異なっていた。

まず、先行研究で作成した、患者家族の介入の認識を高めるため患者家族へ渡す冊子(別紙3)を調査期間全般にわたり使用したことであった。本冊子は、ほぼ全例で病棟看護師長が治療に直接関係しない立場で家族へ介入していたにも関わらず、患者家族から看護師長の介入があったと認識されなかったことを踏まえて作成された冊子である。

2つめは、コロナ禍の影響である。3年間、その時々での蔓延状況は異なるものの、家族の面会禁止(もしくは制限)が行われ、患者家族が医療者と面談する機会が明らかに減少した。

上記の2つの変化の中で、先行研究と比べ、返信率の上昇と、治療に関与しない職員の介入希望および認識の増加が見られた。後者の影響(面談機会の減少)は、いずれもマイナス方向に影響を及ぼすと考えられ、今回の上昇(増加)は、前者の冊子の使用が大きく影響したと考えられる。また、口頭ではなく、冊子を使用し持ち帰りいただくことも、患者家族の認知度向上と安心感にもつながっていると思われる。

約3分の一の家族が、治療に直接関与しない担

当医師・担当看護師以外の介入を希望している結果と、実際の介入の有無で医療の満足度に有意差が生じたことは、先行研究同様に看過できない。介入を希望していて、実際の介入があったと認識した有無での差は当然であろうが、介入を希望に関係なく、介入を行うことで満足度が有意に向上したことは、単年度では有意差が生じず傾向に留まっていたが、本研究3年間を集計することで得られた大きな成果と考えられる。

先行研究では、家族は、病棟看護師長による介入を治療に直接関与しない職員の介入とは認識していなかった。しかし、本研究では、冊子の使用により、病棟看護師長と担当看護師が識別され、介入と認識された。冊子の効果が明らかであった。MSWが介入した症例では、数多くの症例でMSWが『臓器提供の意思確認』を行った。患者家族と複数回の面談を行ったMSWにとって、終末期の意思決定支援を行うことは至極当然のことであり、その一環としての『臓器提供の意思確認』は、極めて自然なことでMSWは認識していた。この点でも、2022年に保険収載された入院時重症患者メディエーターの一つの役割として、臓器提供の意思確認が認識されることは自然な流れであり、担当医師の負担軽減のためにも定着することが望まれる。

E. 結論

終末期の意思決定支援を行う職員を配置し活動させることは、不幸な転帰にもかかわらず、患者家族の医療満足度を向上させる事が確認できた。活動の際には、自身の身分役割を明確にする文書を使用することが有効であることが確認された。その活動の一環として、臓器提供の意思確認は至極当然のことであり、現在主治医を中心に行っている意思確認の確実実施の向上を図る有効な方策と考える。

F. 研究発表

1. 論文発表
ありません。
2. 学会発表
ありません。

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
ありません。
2. 実用新案登録
ありません。
3. その他
ありません。

脳神経外科に入院する 患者さんならびにご家族へ

飯塚病院 脳神経外科では、主治医制ならびに当直制をとっております。主治医が不在の際には、当直医が代理で診察・処置を行うことがあることをご理解ください。

また、脳神経外科では、医療の質を向上させるために、入院加療をされた患者・家族の皆様への支援が十分に行えているかのアンケート調査を行わせて頂いております。退院後に、調査用紙を入院時に登録された現住所に送付させて頂くことがあります。現住所への送付が不都合な際にはお申し出ください。

なお、調査に参加していただくかどうかは、皆さんの自由意志です。退院後の調査のため、参加の有無による今回の入院治療内容に影響はありませんし、無記名調査のため、その後の外来などでの治療内容にも全く関係がありません。

ご質問がありましたら、脳神経外科主治医にご相談ください。

飯塚病院 脳神経外科部長 名取良弘

脳神経外科に入院された患者さんのご家族のみなさんへ アンケート調査へのご協力のお願い

「日本一のまごころ病院」を目指す飯塚病院では、まごころの込もった「最適医療」を提供するために、入院された患者さんにアンケートへのご回答をお願いしています。これまでも、患者さんが退院される当日にアンケートをお願いし、ご回答頂いたご意見を、より良い病院運営に役立ててまいりました。

その一方で、お亡くなりになって退院されました患者さんのご家族には、ご意見を頂く機会がございませんでした。これは、飯塚病院に限らず、日本のほとんどの病院が同様にご家族のお気持ちを察して調査を行っておりませんでした。

しかし、大切なご家族の一員である患者さんと病院で最期の時間を共に過ごされましたご家族にこそ、ご意見を頂戴すべきと考え、このアンケート調査を行うことといたしました。

もちろん、ご回答を強制するものではありません。回答されない場合でも、今後、飯塚病院での受診や治療、看護などでご家族が不利益となることは一切ありません。回答の可否については、ご家族がご自由にお決めください。回答を見合わせる場合は、ご面倒をおかけしますが、この用紙を破棄してください。

このアンケートには、患者さんやご家族個人を特定する情報はございません。この調査結果を医療の改善を目的として学会や公的資料として使用する場合も、集計されたデータとして使用し調査目的以外の利用は行いません。

このような趣旨にご賛同いただき、アンケートにご協力いただけます場合は、御面倒をお掛けしますが、ご回答の後、添付の封筒に入れて、ご返送ください。よろしくご検討のほど、お願い申し上げます。

飯塚病院 副院長

脳神経外科 部長

名取 良弘

■【問1】～【問10】の質問につき、回答を1つ選び当てはまる回答に○印をつけてください。
□には自由にご意見をお書きください。

【問1】入院されていた患者さんの性別を教えてください。

| | | |
|---|---|-----|
| 女 | 男 | その他 |
|---|---|-----|

【問2】入院されていた患者さんの年齢を教えてください。

| | | | | |
|--------|----------|--------|--------|--------|
| 15歳未満 | 15～19歳未満 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 |
| 85歳以上 | | | | |

【問3】今回、患者さんが入院されていた期間を教えてください。

| | | | | | |
|--------|------|------|--------|---------|-------|
| 24時間以内 | 1～3日 | 4～7日 | 8日～14日 | 15日～30日 | 30日以上 |
|--------|------|------|--------|---------|-------|

■ご回答されているご家族(あなた)へ伺います。

【問4】あなたと患者さんとの関係を教えてください。

| | | | | |
|-----|---|-----|----------|-----|
| 配偶者 | 親 | 子ども | 親戚(兄弟など) | その他 |
|-----|---|-----|----------|-----|

【問5】あなたの年齢を教えてください。

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 20歳未満 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85歳以上 |

【問6】あなたは「担当医師」についてどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

| | 大変良い | 良い | どちらでもない | やや悪い | 悪い | わからない |
|--------------------------|------|----|---------|------|----|-------|
| 1. 治療全般について | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 2. 病気の状態や検査・治療に関する説明について | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 3. 患者さんのご質問や訴えへの対応について | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

【問7】あなたは「看護師」に関する下記の事項はどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

| | 大変良い | 良い | どちらでもない | やや悪い | 悪い | わからない |
|-------------------------|------|----|---------|------|----|-------|
| 1. 看護全般について | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 2. 患者さんのご要望やご相談への対応について | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 3. ナースコールの対応について | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

【問8】あなたは「入院」に関する下記の事項はどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

| | 大変良い | 良い | どちらでもない | やや悪い | 悪い | わからない |
|--------------|------|----|---------|------|----|-------|
| 1. 病室環境・院内設備 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 2. 食事 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 3. 職員の言葉遣い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 4. 職員の身だしなみ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 5. プライバシー保護 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 6. 安全面 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

【問9】 今回の入院中、担当医師・看護師以外に、患者さんの治療以外の内容について、相談できる職員がいれば、相談したいことがありましたか？

| | |
|-----|------|
| あった | なかった |
|-----|------|

【問10】 今回の入院中、担当医師・看護師以外に、ご家族のご相談に応じた当院の職員はいましたか？

| | |
|----|-------|
| いた | いなかった |
|----|-------|

* 「いた」と答えた方は、10-1～10-3の質問にお答えください。

10-1：対応した職員の職種をお答えください。（複数対応した場合には、全て選んでください。）

| | | | | | |
|--------------------|-------|------------|-------|----------------|-----|
| ソーシャルワーカー (相談員) | 臨床心理士 | 病棟 看護師長 | 病棟事務員 | リハビリ 担当スタッフ | その他 |
|--------------------|-------|------------|-------|----------------|-----|

* 「その他」の職種がわかれば、具体的にご記入ください。➤

10-2：担当医師・看護師以外の職員は親身になってお話を伺っていましたか。

| | | | | |
|---------------|-----------------|---------|-------------------|------------------|
| 全て聞いて もらえた | だいたい聞いて もらえた | どちらでもない | あまり聞いても らえなかった | 全く聞いてもら えなかった |
|---------------|-----------------|---------|-------------------|------------------|

10-3：ご家族の相談について、担当医師・看護師以外の職員の対応は満足いくものでしたか。

| | | | | |
|----|------|---------|------|----|
| 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |
|----|------|---------|------|----|

【問11】 今回の脳神経外科病棟での入院生活全般について、ご家族としての感想をお聞かせください。

| | | | | |
|----|------|---------|------|----|
| 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |
|----|------|---------|------|----|

【問12】 今後、ご家族や友人に当院（飯塚病院）を勧めようとお考えですか？

| | | | | |
|---------|------------------|---------|---------|---------|
| 是非、勧めたい | どちらかといえば 勧めたい | どちらでもない | あまり勧めない | 絶対に勧めない |
|---------|------------------|---------|---------|---------|

■ご意見・ご要望等がありましたら、ご記入ください。

改善の結果報告をご希望の方は、ご連絡のため お名前、ご連絡先をご記入ください。

御面倒をお掛けして申し訳ありませんが、アンケートは、添付の封筒に入れてご投函ください。
ご協力誠にありがとうございました。

ご相談の窓口

| | |
|-------------|--|
| 病棟 | |
| 病棟看護師長 | |
| 担当ソーシャルワーカー | |

①電話の場合

病棟：0948-22-3800（代表）

※担当病棟をお呼び出してください

ソーシャルワーカー：0948-29-8069（直通）

※平日8:30～17:00まで

※担当ソーシャルワーカーをお呼び出してください

②ご来院の場合

病棟のスタッフステーションで
お尋ねください

当院のサポート体制について

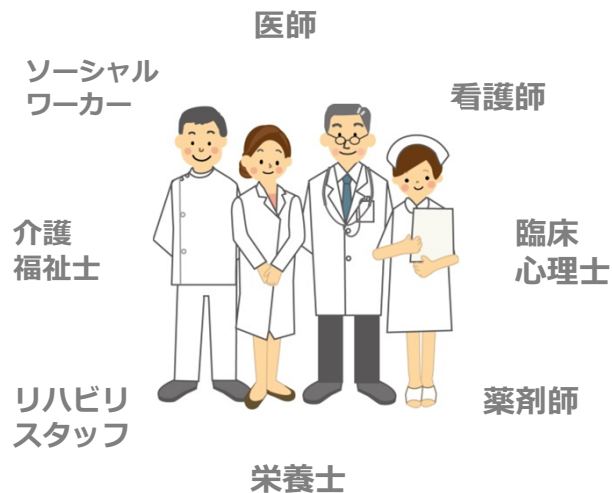


ご家族の皆さまへ

急な入院・治療に伴い、ご家族のご心労はいかばかりかとお察しいたします。

当院では、ご家族に対しても、気持ちの辛さやご心配について、医師・看護師・ソーシャルワーカー等の多職種がチームとなり、サポートを行っています。

チームで患者・家族のサポートを行います



ご家族だけで悩んでいませんか？

相談できることの例

医療者とのコミュニケーションに関すること

- ・ 医師の説明をもう一度聞きたい
- ・ 医師に何を聞けばいいのか分からない
- ・ 医師に疑問や希望をうまく伝えられない
- ・ セカンドオピニオンについて知りたい

ケアに関すること

- ・ 入院中の療養環境やケアについて相談したい
- ・ 家族もケアに参加したい

心のこと

- ・ 不安な気持ちや思いを聞いてほしい

療養生活に関すること

- ・ 今後の療養の場所やサポートについて
- ・ 経済的な心配
- ・ その他、社会的な困りごと